

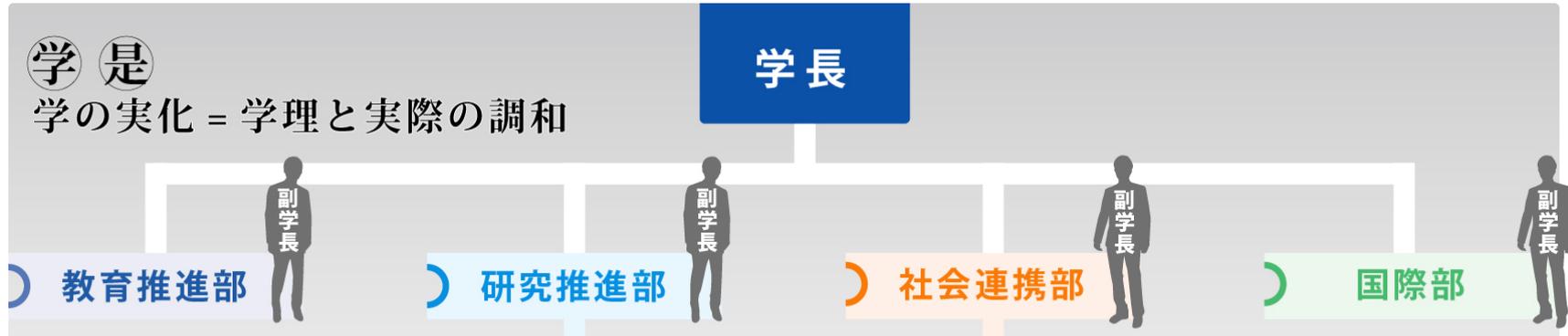
関西大学におけるイノベーション創出に 向けたURAの取り組み

2014年9月18日
関西大学 シニアURA
角谷 賢二



関西大学

研究推進・産学官連携推進体制



長期行動計画

- ① 「鍛えられた研究力」醸成のための活動環境の整備
- ② 研究専念型教員制度の導入による特徴的な研究の推進
- ③ 知的財産の獲得・管理のための活動環境の整備

研究体制の整備

戦略的な研究テーマの選択

研究資源の集中的投入

研究専念型教員制度の導入

若手研究者の育成

産学官・知財連携

競争的外部資金の導入

産学官連携事業の促進

知財管理の制度整備

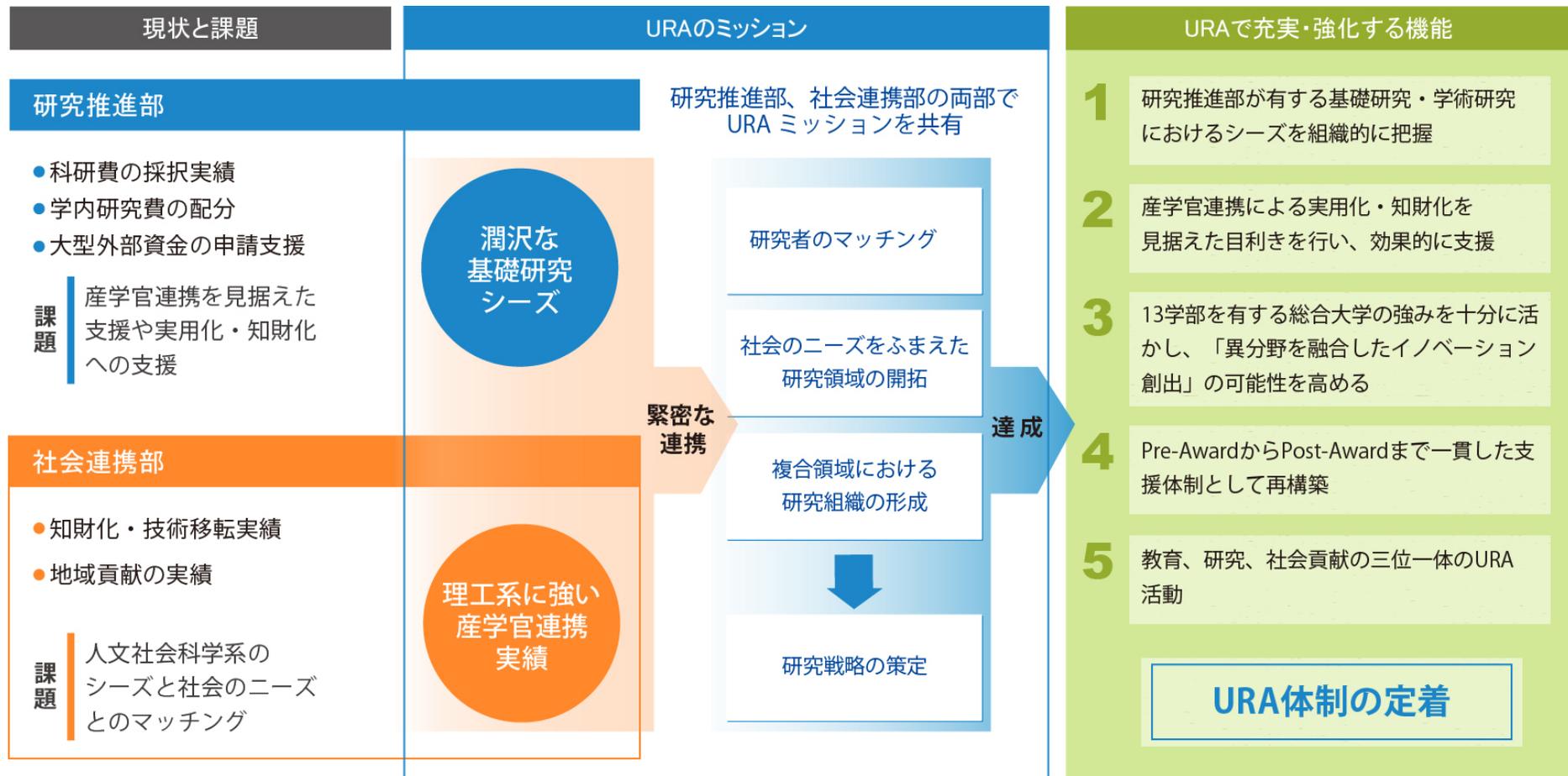
鍛えられた研究力の醸成

大学の戦略的研究拠点の形成

本学独自の国際的に競争できる研究の育成



URA体制の推進(2012年度以降～)



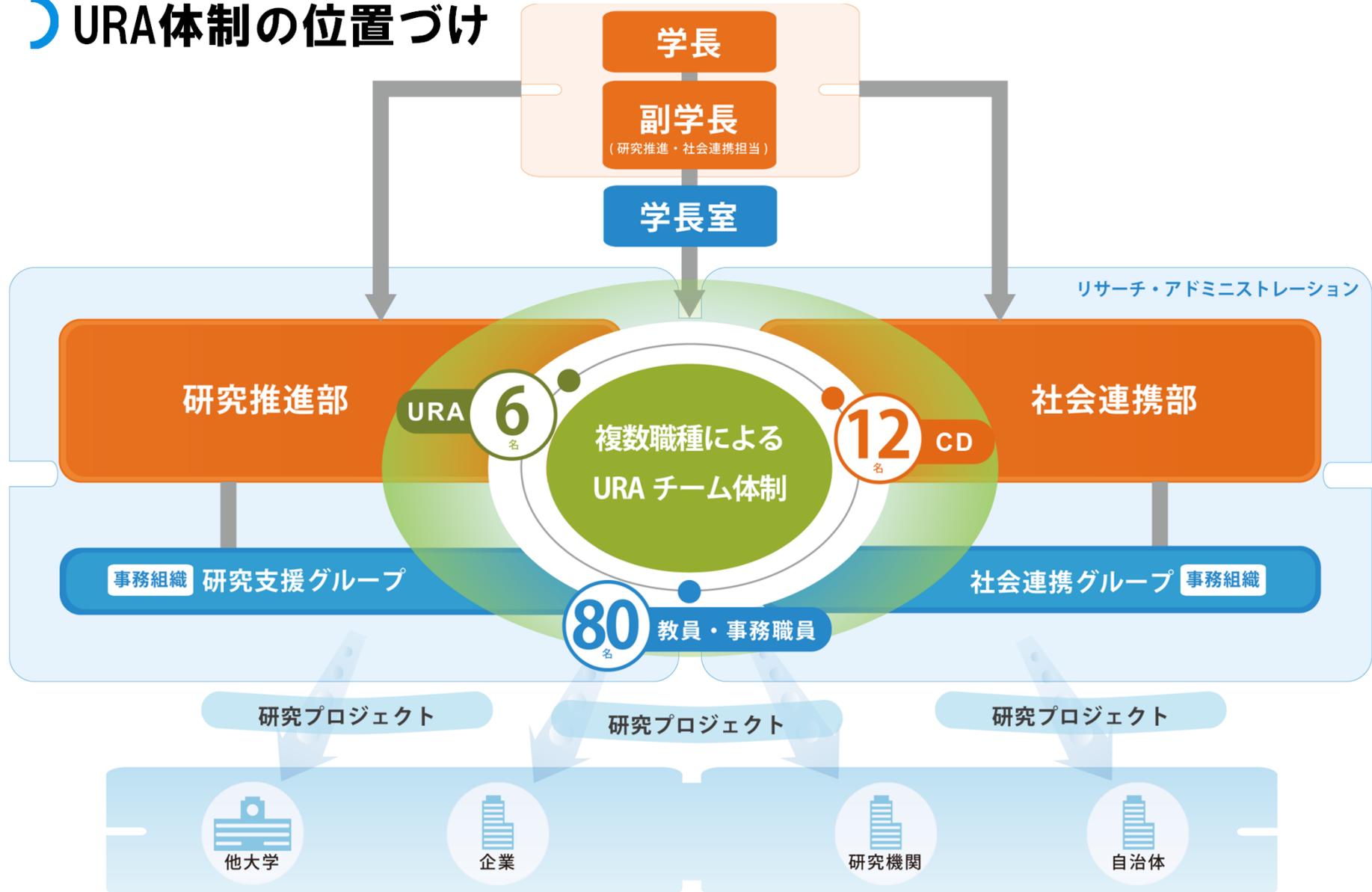
課題を解決するための機能的な支援体制の設計

研究支援ニーズの調査結果をもとに、支援者に求められる能力や技能を6群の職務区分に分類

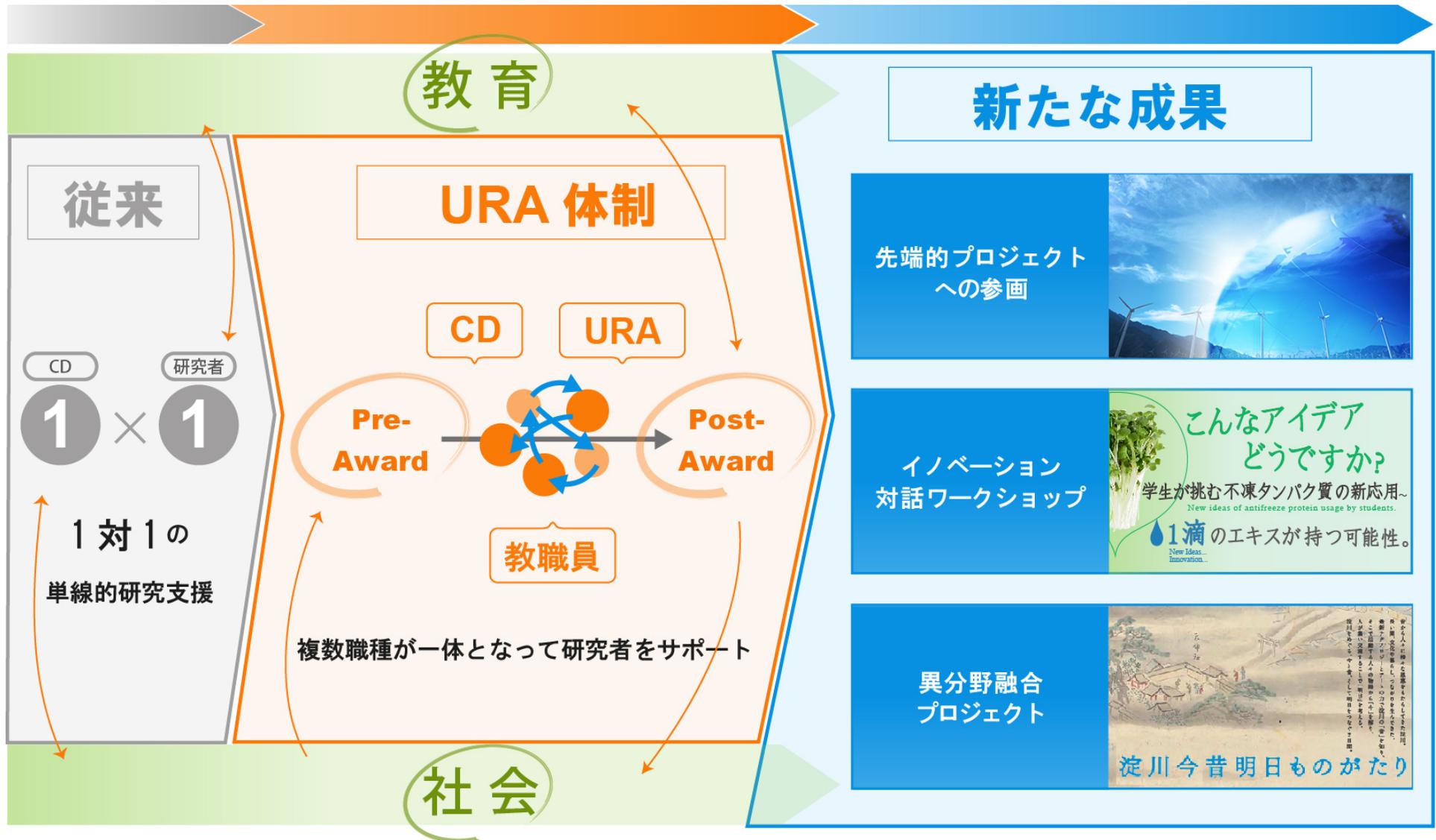


- 高度な専門性を有する支援者をリサーチ・コーディネーター(URA)として戦略的に6名配置(シニア研究企画アドバイザー1名、統計分析・情報収集担当1名、プロジェクト運営担当3名、作図デザイナー1名)
- 学内で従来より研究支援業務に従事している職員を、職能別に体系化することで、上記職務区分の機能を網羅的に推進。

URA体制の位置づけ



URA体制の導入効果



イノベーション創出に向けた活動の具体例1(イノベーション対話ワークショップ)

関西大学ビジネスイノベーションセンター(仮称)



メインファシリテーター 商学部教授 川上 智子



専従 URA



テーマファシリテーター
ビジネス系教員、技術系教員



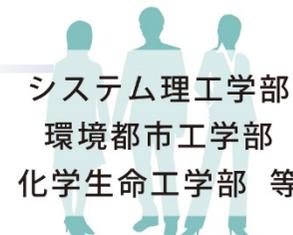
事務スタッフ



ビジネス系学部 [ニーズ]

[シーズ] 技術系学部

実績
KUBIC
CORES
ロボットプログラム



実績
受託研究
共同研究



社会連携部
副学長(社会連携担当)
産学官連携コーディネーター(CD)



研究推進部
副学長(研究推進担当)
リサーチアドミニストレーター(URA)

イノベーション創出に向けた活動の具体例1(イノベーション対話ワークショップ) 16

イノベーション対話ワークショップ

こんなアイデアどうですか?

～学生が挑む不凍タンパク質の新応用～

New ideas of antifreeze protein usage by students.

2013.12.25 Wed 15:30 OPEN14:45 CLOSE18:35

グランフロント大阪タワーC(北館)7階
「Osaka Innovation Hub(大阪イノベーションハブ)」

入場
無料

募集

企業関係者(主に冷凍食品を扱う企業等)、研究者、学生、その他所属・年齢問わず産学連携、ビジネスプランコンペティションに関心のある方 **50名程度**

今回の応用テーマ

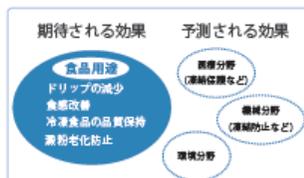
離乳食、コンビニ弁当、生花、スイーツ、お弁当用カットフルーツ、宇宙食、冷凍カレー、etc.



不凍タンパク質で 冷凍保存後も 冷凍前の品質を維持

不凍タンパク質は、カイワレ大根などから抽出でき、水が凍ってしまう氷点下の温度域で氷結晶に結合してその成長を妨げる能力を持つ物質です。

例えば、食品にごく微量添加することにより、冷凍しても品質劣化しにくくなる特徴があります。



1滴のエキスが持つ可能性。
New Ideas...
Innovation...

イノベーション対話ワークショップ



平成 25 年
12/25

こんなアイデアどうですか?

～学生が挑む不凍タンパク質の新応用～



概要

イノベーションの可能性を秘めた技術シーズ「不凍タンパク質技術」をテーマに、学生10チーム(50名)によるビジネスプランを発表します。これら学生のアイデアを参加者との対話を通じ、「使えるアイデア」としてブラッシュアップし、事業化の道を探ります。なお、当日は、参加者の皆様からの投票によりチャンピオンを決定します。

【メインファシリテーター】	【シーズ提供】	【コメンテーター】	トーマツベンチャーサポート(株)
関西大学 商学部 教授 川上 智子	関西大学 化学生命工学部 教授 河原 秀久	(株)カネカ 食品事業部 幹部職 寶川 厚司 *不凍タンパク質の供給メーカー	公認会計士 伊東 昌一

プログラム

- 15:30 開会
〔主催者挨拶〕 荒木 孝治 (関西大学 商学部 教授)
〔大阪市挨拶〕 吉川 正晃 (大阪市都市計画局 理事)
- 15:50 シーズ説明「不凍タンパク質による冷凍保存新技術」
〔シーズ説明〕 河原 秀久 (関西大学 化学生命工学部 教授)
- 16:05 <商学部学生によるアイデア発表・フロアとの対話>
荒木孝治ゼミ、川上智子ゼミ、西岡健一ゼミ 計10チーム
前半5チーム
- 17:05 (休憩 10分)
- 17:15 後半5チーム
- 18:15 チャンピオン選考(参加者による投票形式)及び全体講評
- 18:30 閉会の挨拶
角谷 賢二 (関西大学学長室シニア URA)
- 18:35 名刺交換会

お問合せ・お申込み

参加ご希望の方は、下記アドレスに件名を「12月25日参加希望」として必要事項(①氏名・②所属・③メールアドレス・④電話番号)を記載のうえお申込みください。(定員に達し次第受付を終了させていただく場合があります。)

【申込アドレス】 kenkyushien@ml.kandai.jp

*受付時にお名前を頂戴いたします。

関西大学 研究支援グループ・社会連携グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL: 06-6368-1784 FAX: 06-6388-9544 kenkyushien@ml.kandai.jp

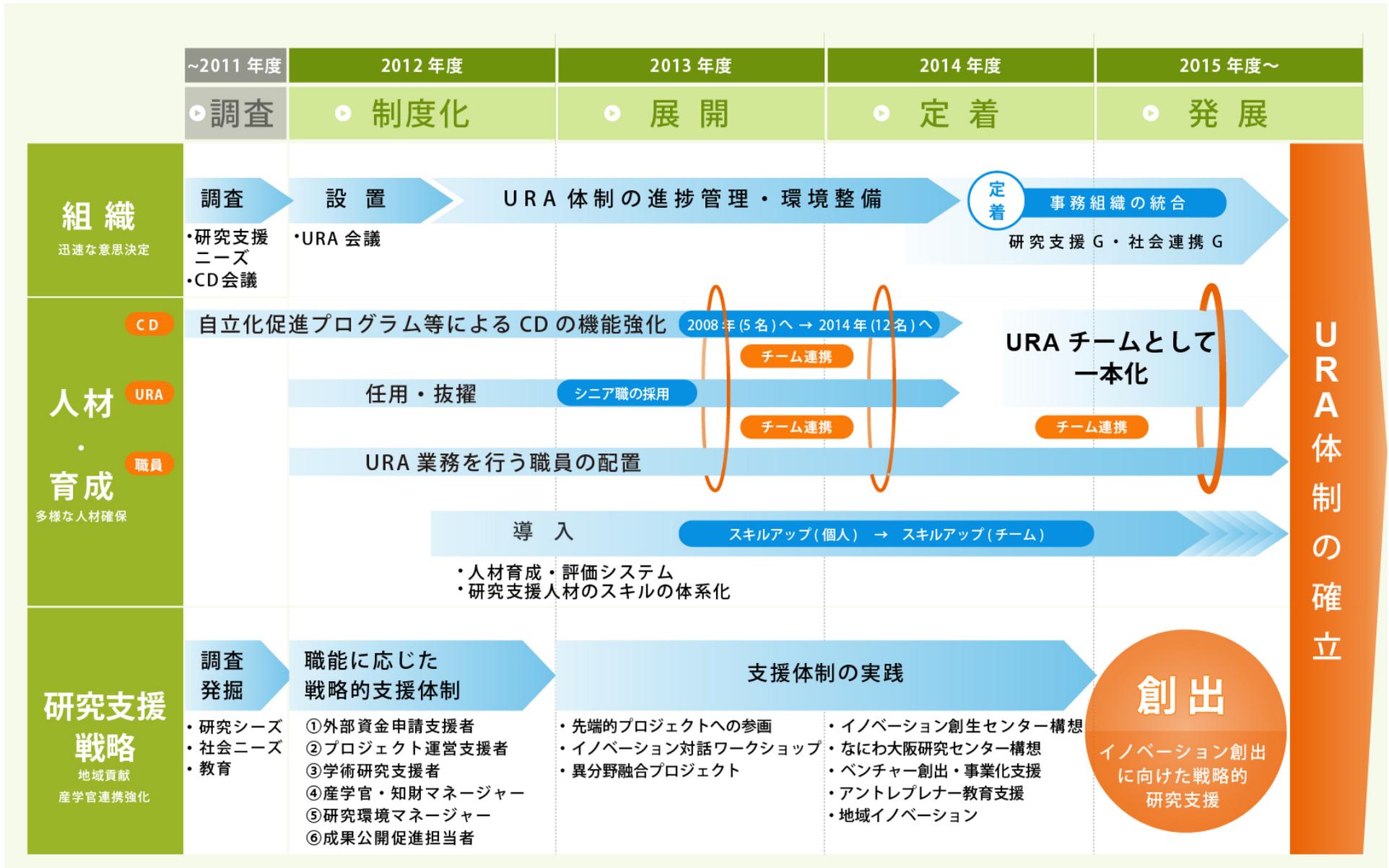


会場

グランフロント大阪タワーC(北館)7階
「Osaka Innovation Hub(大阪イノベーションハブ)」
大阪府北区大田町3番1号
HP: <http://www.innovation-osaka.jp/ja/>
JR大阪駅より徒歩10分



URA体制導入から確立までのロードマップ



）今後の課題：成功に向けての課題は何か

本学の取り組みの特徴

- ・独自の取り組みであること。(URAの増員、URAチーム体制など)
- ・URA、CDと事務職員を分けるのではなく、URAチームとして活動。
(事務職員等を加えることでスキルの高い支援人材を広める)
- ・段階的な、組織の統合や職種、人員増を実施。
(実情に合わせてながら、まずは現状のリソースを最大限活用)
- ・CDとURAの協働がうまくいっていること。
(URA活動の中に従来のCDの活動も含まれることを丁寧に説明)
- ・教育、研究、社会貢献の三位一体のURA活動。
(URA活動により研究力を高め、教育の質向上につなげる)

御清聴ありがとうございました。